

## 特別講演

「NST って何!? - 地域で健やかに生きる権利『栄養』を保障すること」

北陸 PEG・在宅栄養研究会事務局 / 金沢・在宅 NST 研究会代表世話人 / 小川医院 院長小  
川 滋彦

「病は気から」といいます。もちろん、「気」が大切なのは言うまでもないことですが、その「気」をつくっているものは実は「栄養」なのです。そして、どんな病気になっても行き着く所は、とどのつまり「栄養障害」です。「栄養障害」が「気」を失わせ、「気」を失うことが「栄養障害」を助長する、いわばデフレ・スパイラルです。ですから、裏を返せば「栄養障害」への対策 - これを「栄養管理」と言います - をしっかりやれば、どんな病気が相手でも、その悪循環を断ち切ることができる。そして、医療に関わるすべての職種がチームを組んで「栄養管理」に取り組み、病める人々を「栄養」で以って支えようとするのを **NST**（栄養支援チーム）と言います。

本日は、**NST** 活動の一環として石川県金沢市における PEG（胃ろう）の取り組みをご紹介します。PEG は口から食事を摂れない患者さんたちの栄養を支えるものです。PEG は確実に栄養を入れることができるので、本当に大変な病気の患者さんたちが「障害を持ちながらも」安定した社会生活を送ることを可能にしました。そういう意味で、PEG は「栄養管理」の効果を「端的」に見せてくれます。

まずは「年寄りに栄養はいらない」などと言わずに、病気のせいでどんなに「気弱」になっても、「気」を取り戻すための「栄養」を保障することは、地域で健やかに生きていくための「権利」を守ることだといえます。そして、その「権利」を最大限バックアップしようとする **NST** の活動は、一般市民の皆さんの医療への信頼を取り戻す、大きなムーブメントとなるでしょう。